

PAT-NO: JP354000963A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 54000963 A

TITLE: ANALOG DIGITAL CONVERTER

PUBN-DATE: January 6, 1979

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MURANO, KAZUO

MATSUDA, KIICHI

FUKUDA, YUTAKA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD

N/A

APPL-NO: JP52066524

APPL-DATE: June 6, 1977

INT-CL (IPC): H03K013/175

US-CL-CURRENT: 341/163

ABSTRACT:

PURPOSE: To establish a multi-value feedback type converter ensuring the coding of high accuracy, by setting the upper (lower) limit reference level at approximately intermediate position between the upper (lower) level and 0 level of the former comparison reference signal, after comparing and judging the sample signal.

COPYRIGHT: (C)1979,JPO&Japio

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑩特許出願公開
昭54—963

⑪Int. Cl.²
H 03 K 13/175

識別記号

⑫日本分類
98(5) F 1

庁内整理番号
7125—5J

⑬公開 昭和54年(1979)1月6日

発明の数 1
審査請求 有

(全 4 頁)

⑭アナログ・デジタル変換器

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑮特 願 昭52—66524

⑯発 明 者 福田裕

⑰出 願 昭52(1977)6月6日

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑱発 明 者 村野和雄

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑲出 願 人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

同 松田喜一

⑳代 理 人 弁理士 松岡宏四郎

明 細 書

1 発明の名称 アナログ・デジタル変換器

2 特許請求の範囲

入力アナログ信号のサンプル信号を M ($M > 1$) ビットずつ比較判別する比較器群を有し、該比較器群の出力を順次局部復号器に帰還して符号化を行う多値帰還形アナログ・デジタル変換器において、該比較器群により該サンプル信号の比較判別を行つたのち、上限参照レベルを前回比較参照信号の上限レベルと0レベルの略中間位置に下限参照レベルを前回比較参照信号の下限レベルと0レベルの略中間位置に設定することを特徴とするアナログ・デジタル変換器。

3 発明の詳細な説明

本発明はアナログ信号をデジタル信号に変換するアナログ・デジタル変換器に關し、特に高速・高精度の符号化を行うことを可能にした多値帰還形アナログ・デジタル変換器に關する。

従来よりアナログ・デジタル(以下A/D)変換器として逐次帰還型、繰返型、直並列型、計 型等

が知られている。逐次帰還型は変換速度の向上が望めず、繰返型は回路規模が大きくなりすぎ、直並列型も回路規模が大きくなりすぎるといふ点で高速・高精度のA/D変換器として各々欠点を有していた。又、計 型は高速の点ではクロック系での面で実現性がない。

そこで、回路規模を小さくし、かつ高速で動作するA/D変換器として同時に複数の符号化を行ない帰還をかける方式のA/D変換器が有望となつてきた。本発明はこの複数の符号化を行ない帰還をかける方式のA/D変換器において、より高精度の符号化を行なえることを主たる目的としている。

上記、多値帰還形A/D変換器については、発明者等が既に特願昭51—142668号(昭和51年1126日)において効率的な構成方法について提案している。本発明は、上記出願について更に改良を施したA/D変換器について提案するのである。まず、上記出願の特徴とする構成は、符号化されるためのアナログ信号のサンプル値を

入力し、該サンプル値と比較レベルの大小を判別して該判別出力を符号化出力とするアナログデジタル変換器において、該符号化出力を入力して符号化範囲の上限を決定する第1のデジタルアナログ変換器及び下限を決定する第2のデジタルアナログ変換器と、該第1、第2のデジタルアナログ変換器の出力値によつて決定される符号化範囲を $(2^N - 1)$ (N : 自然数) 分割する抵抗網と該抵抗網によつて発生された $(2^N - 1)$ 個のレベルと該サンプル値を比較し、その出力を該第1、第2のデジタルアナログ変換器に入力するとともに符号化信号とする $(2^N - 1)$ 個の比較器を含んでなるものである。

上記、出願の基本的構成図を第1図に示す。この回路の基本的な考え方は逐次比較帰還形が1ビットずつ判定して帰還する(或は存在領域を $1/2$ ずつに区切つていく)のに較べて、ここでは一度に N ($N > 1$) ビットずつ判定して帰還(或は存在領域を $1/2^N$ ずつに区切つていく)しようとするものである。この手順を L 回繰り返すことによ

り $M = L \times N$ ビットの符号化ができる。 N ビットずつの判定を行なうために $(2^N - 1)$ 個の比較器群11、これらの比較器群11の出力を N ビットの2進数に変換するための論理回路12、及びこれらの N ビットを記憶し次ステップの判定スレッシユホールドレベルを決定するための第1記憶回路13及び第2記憶回路14、 $(2^N - 1)$ 個の判定スレッシユホールドレベルを発生するための上限と下限の値を決定する J ($J \leq M$) ビットD/A変換器15、16とそれらD/A変換器15、16の出力の間を $(2^N - 1)$ に等分割するための $(2^N - 1)$ 個の直列抵抗網17、最終 M ビット符号をラッチし出力に供するための記憶回路18、そして全体のシーケンスを制御するためのクロック回路19よりなる。このA/D変換器は帰還比較に較べて部品点数は多くなるが、個々の部品は低速で安価なものが使用でき、全体として経済的となる。

本発明は上記のA/D変換器を更に改良したものであり、その構成は入力アナログ信号のサンプル

信号を M ($M > 1$) ビットずつ比較判別する比較器群を有し、該比較器群の出力を順次局部復号器に帰還して符号化を行う多値帰還形アナログ・デジタル変換器において、該比較器群により該サンプル信号の比較判別を行つたのち、上限参照レベルを前回比較参照信号の上限レベルと0レベルの略中間位置に下限参照レベルを前回比較参照信号の下限レベルと0レベルの略中間位置に設定することを特徴とする。

以下、図面を用いて本発明の説明を行う。第2図は本発明の一実施例ブロック図である。本実施例においては同時に2ビットの符号化を行ない、最終的に8ビットのデジタル出力を得る構成について説明を施す。本図において第1図と同一部位は同一番号を付した。23、24は記憶回路である。第8図は本発明を説明するためのタイムチャート、第4図は本発明を説明するためのD/A変換器15、16の出力電圧波形を説明するための図である。本発明における第2図に示す実施例の動作の概略は第1図に示す従来例の動作と同様である。従来

例と異なる点は記憶回路23、24に、比較判別動作を行つたのちにクロック信号CLKにより所定符号を強制的に入力し、D/A変換器15、16の参照電圧レベルを所定値にクランプすることである。

第8図は標準化周期、aは比較器11の出力タイミング、bはクロック信号CLKのタイミングを示すタイムチャートである。

第4図の点線Bは従来の動作時でのD/A変換器出力波形、実線Cは本発明による動作時でのD/A変換器出力波形、実線Aは入力サンプル信号波形である。

まず始めに従来の動作について説明する。

参照アナログ信号の上限を定める V_{ref1} は入力アナログ信号の上限である V_{H1} を出力し、参照アナログ信号の下限を定める V_{ref2} は入力アナログ信号の下限である V_{L1} を出力し、この2信号より作られる参照信号と入力信号を比較し、比較器(以下comp)1~8は1ビット目と2ビット目の符号化を行なう。このcompの出力をうけ論

理回路2は2進の符号に変換し記憶回路18にたくわえる。この記憶回路の出力は記憶回路28, 24を経由して各々D/A変換器15, 16へ帰還され、次の参照電圧 V_{H2} , V_{L2} を出力する。この2出力をうけcomp, 論理回路, 記憶回路, 記憶回路28, 24は前と同様の動作により、8ビット目と4ビット目の符号化を行ないD/A変換器15, 16にその結果を帰還する。この結果をうけてD/A変換器15, 16は8回目の判定に必要な上限アナログ信号 V_{H8} , 下限アナログ信号 V_{L8} を発生する。この出力をうけ、comp D/D Memは前と同様の動作により5ビット目と6ビット目の判定を行なう。

次に本発明による回路動作を説明する。まず始めに参照アナログ信号の上限を定めるD/A変換器は入力アナログ信号の上限である V_{H1} を出力し参照アナログ信号の下限を定める。D/A変換器16は入力アナログ信号の下限である V_{L1} を出力し、この2信号より作られる参照信号と入力信号と入力信号とを比較しcomp 1~8は1ビット目

と2ビット目の符号化を行なう。この符号化の行なわれた直後にD/A変換器出力15が強制的にレベル V_{ref1-1} (第4図図示)をD/A変換器16の出力は強制的にレベル V_{ref2-1} (第4図図示)を出力として出すように記憶回路28, 24を操作する。一方comp出力をうけて論理回路12及び記憶回路18は通常の場合と同一動作をし、強制的に値を変えられた記憶回路28, 24への帰還入力となる。この帰還入力をうけて記憶回路28, 24は次の参照電圧 V_{H2} , V_{L2} を出すべく動作を行ないD/A変換器15, 16は各々 V_{H2} , V_{L2} を出力する。 V_{H2} , V_{L2} の2つの参照信号を基準とし作られる参照信号をもとにしてcomp 1~8は前と同様の動作を行ない、8ビット目と4ビット目の符号出力を論理回路12へ伝える。これと同時にD/A変換器15, 16の出力は強制的に V_{ref1-2} , V_{ref2-2} へを変えられ帰還符号の伝達を持つ。論理回路12, 記憶回路18, 28, 24は前と同様の動作を動かない結果として V_{ref1} , V_{ref2} の出力は V_{H8} , V_{L8}

を発生する。この2つのアナログ参照電圧をもとにcomp 1~8は前と同様の動作を行ない5, 6ビット目の符号化が行なわれる。

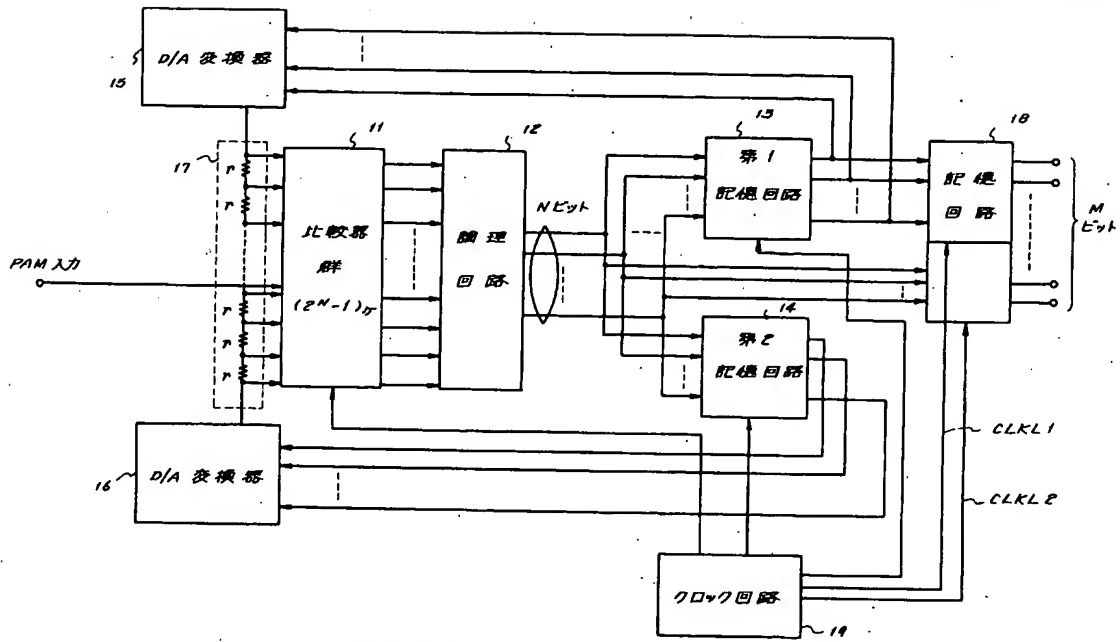
以上の本発明により複数の符号化が同時に行なわれ、その符号化出力を帰還する帰還型A/D変換器において特性の最も劣化しやすい過渡状態での変化巾が抑えられるため、整定が早くなり精度の向上が行なえる。また、入力信号の小さな場合には特に2回目の符号化に要する参照電圧の変化が小さくなり特性の大巾な向上が行なえる。また、本発明に依する回路は局部復号器用の記憶回路をデジタル的に制御するだけでよいので回路的にも、簡単に特性の向上には極めて有用である。

4. 図面の簡単な説明

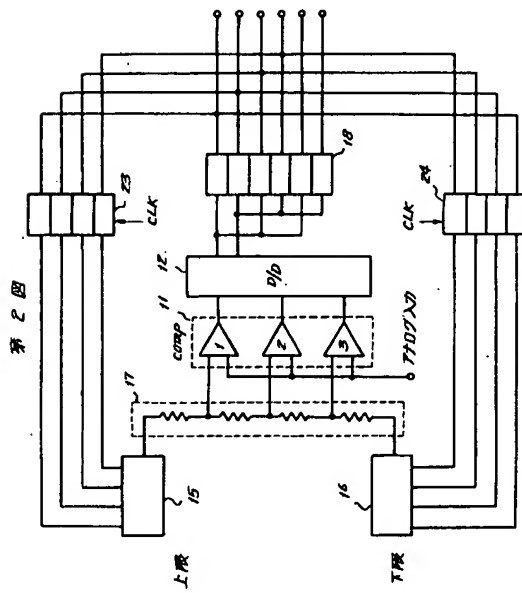
第1図は従来例、第2図は本発明の一実施例、第3図、第4図は本発明を説明するためのタイムチャート及び電圧波形図である。

第2図において28, 24は記憶回路、CLKはクロック信号を示す。

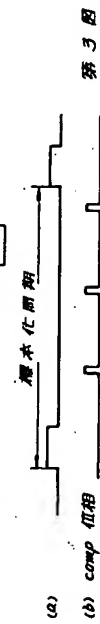
代理人 弁理士 松岡 宏四郎



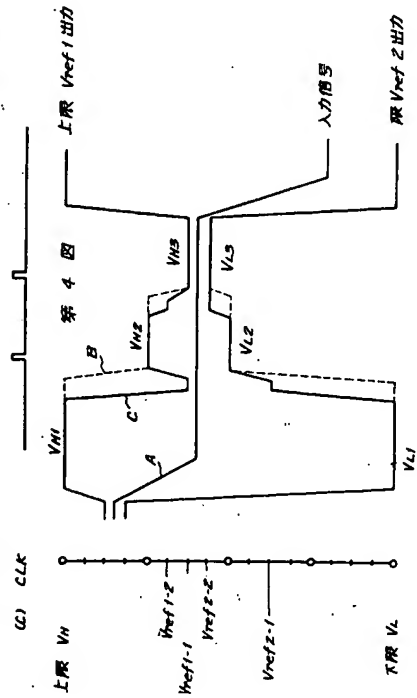
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図